

枚方市立図書館

おすすめの 子どもの本2022



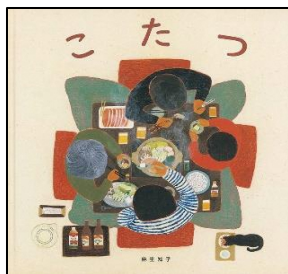
枚方市キャラクター
ひこぼしくん

- 2020年11月から2021年10月に出版された子どもの本の中から、特におすすめする本を選びました。子どもの本に関わる大人の方へ向けて紹介しています。
- 本の情報は、左上から書名、著者名、出版社名、右上から図書館での分類記号、対象年齢の順になっています。



↑ 図書検索は
コチラから！

2022年4月発行 枚方市立中央図書館
電話 050-7105-8121 FAX 072-851-0962



こたつ

麻生 知子／作 福音館書店

エホナーアソ
【幼児～小学校中学年】

こたつの真上から見た構図で、こたつを囲む人達を描いています。表情は描かれていませんが、身体の形や動きに表情があります。みんなでこたつに集まり、食べて、飲んで、遊んで、寝て。おみそかの朝から新年を迎える、あわただしくも楽しく、どこか懐かしい風景です。現実味のある状況を描き、お鍋や年越しそば・おせちなどがとても美味しそうに思わず食べたくくなります。家族みんなで楽しく過ごし、新年を迎える喜びが伝わる絵本です。あなたもこたつに入って温かい世界に入ってみませんか？



へんてこたいそう

新井 洋行／作・絵 小峰書店

エホナーアラ
【幼児～小学校低学年】

トイレの場所を案内するマークが、ひらいて ふんばって、いっちに いっちに。非常口マークが、はしって～ ぷりぷり。プールや海水浴場・ゴミ箱を表すマークなどはいつも じーっと しているから、体をいっぱい動かしたい！でも、へんてこな体操。普段、街中で見かけるマークが動き出しついに踊りだします。普通の体操動作ではなく、へんてこな動きをするとところが笑ってしまいます。クマ出没注意で肝を冷やします。子どもたちが「へんてこー」と、突っ込みたくなる絵本です。



ナナはセラピードッグ

ジュリア・ドナルドソン／文 サラ・オギルヴィ／絵 福本 友美子／訳
BL出版

エホナーオキ
【小学校低学年～中学年】

ダルメシアンの子犬ナナはただの犬ではありません。飼い主のローズさんといっしょに病院を訪れては、病気やけがで動けなく不安に思っている人達を元気づけたりなぐさめて喜ばれています。ある日、病院からの帰り道、ナナは難聴の子供をかばって車にはねられます。足をけがしたナナは、今度は自分が家から出られなくなります。そこへナナのおかげで元気になった子どもたちがお見舞いに来てくれました。人を元気づけることの大切さが感じられる絵本です。

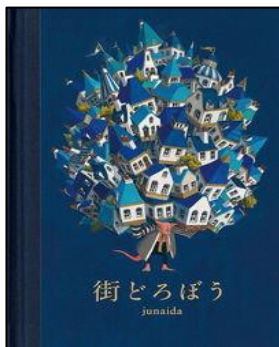


いつかあなたをわすれても

桜木 紫乃／文 オザワ ミカ／絵 集英社

エホナーオサ
【小学校高学年～中学生】

認知症が進み、孫の「わたし」を娘と認識してしまう祖母「さとちゃん」を見ながら、「わたし」は父母と語り合います。「さとちゃん」が本当は男の子が欲しかったんだということを聞かされます。「わたし」はどんな大人になっていくのか、「さとちゃん」と母との関係のようになっていくのか、一つ一つ話し合い不安を取り除きながらさよならの準備をしていきます。いつか忘れてしまう日が来るかもしれないとおびえるのではなく、日々を大切に過ごそうと思うことのできる絵本です。



街どろぼう

junaida / 著 福音館書店

エホンーシユ
【小学校中学年～高学年】

山頂で暮らしている巨人は寂しいので、麓の街に降りて、家を一軒盗んできました。巨人は家の住人に、親戚の家も運ぶように頼まれます。やがて、「友達を連れてきて」「お店を持ってきて」と次々に頼まれ、ついに麓の街が山頂にできてしまいました。山頂はたいへん賑やかになりましたが、巨人の寂しい気持ちは変わりませんでした。巨人は決断し山を降りていくと一軒の家に少年が暮らしていました。必要なのは、大勢の人や賑やかな町ではなく、心を通わせることができる存在である、ということを見せてくれる絵本です。



くまちゃんがいさくなっちゃった

トム・エリヤン / 文 ジェーン・マッセイ / 絵 なががわ ちひろ / 訳
光村教育図書

エホンーマツ
【幼児～小学校中学年】

お父さんがぼくにくれたのはとっても大きなくまちゃんです。ぼくはくまちゃんがだんだん小さくなっていくように思いました。でもお父さんもお母さんも変わっていないと言います。それからもどんどん小さくなり、そのうちにリュックに入っているぐらいに小さくなりました。どんな大きさのくまちゃんでも、ぼくは大好きでぎゅっとするとほっとします。ぼくの成長とともにくまちゃんが小さくなっていくことを心配するいろいろな姿が、かわいい絵でさわやかに描かれています。

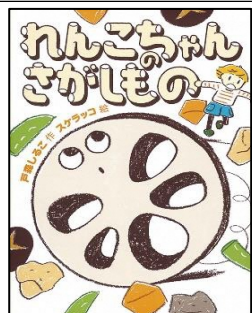


くしゃみおじさん

オルガ・カブラル / 作 小宮 由 / 訳 山村 浩二 / 絵 岩波書店

やさしいものがたりーカフ
【小学校低学年～中学年】

ある肌寒い日、荷馬車にのっていたおじさんが大きなくしゃみをしました。あまりにもくしゃみが大きかったので、そばにいた動物たちに大変なことがおきました。猫の頭にうさぎの耳がくっつき、うさぎの頭に猫の耳がくっつき、犬は「ニャー」という声しか出ないのです。3びきが元に戻してもらおうと、おじさんを探しにいくと、おじさんのくしゃみのせいで、とんでもない目にあつた動物たちや子どもたちに次々と出会います。ユーモアがあり小さい子には楽しい作品です。

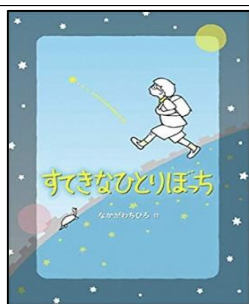


れんこちゃんのさがしもの

戸森 しるこ / 作 スケラッコ / 絵

やさしいものがたりートモ
【小学校低学年～中学年】
福音館書店

料理が得意なお父さんのお手伝いで、れおくんは初めてれんこんを切りました。すると、輪切りになったれんこんと目が合いました。なんと、れんこんに目と口があつたのです。れんこちゃんと名乗つたれんこんは、煮物になるのはいやと、家の外に飛び出します。慌てて追いかけるれおくん。タイヤになったり、ボタンになったり、マンホールになったり…。れんこちゃんの自分探しの旅が始まります。コロコロ転がるれんこちゃんのようにテンポの良いお話です。



すてきなひとりぼっち

なががわ ちひろ / 作 のら書店

やさしいものがたりーナカ
【小学校低学年～中学年】

クラスでもひとりぼっちにはなれている一平。雨の日、学校から帰る途中、水たまりで転んでびしょぬれになります。家に着いたらカキがかかっている中に入れません。一平はお母さんを探しにスーパーに行きますが、なかなか見つかりません。すると、まわりに大人が次々とやってきて助けてくれます。シンプルな絵でありふれた日常を描きながら物語は進みます。毎日、楽しいことばかりじゃないけれど、ひとりぼっちも悪くないと思えてくるお話です。



およぐ!

麻生 かづこ / 作 大庭 賢哉 / 絵 文研出版

Fーアソ
【小学校中学年】

小学4年生の歩夢（あゆむ）は、運動会のクラス対抗全員リレーで1着になるほど運動神経がとても良い男の子です。幼稚園の時にプールでおぼれてから今でも水泳は苦手です。けれども、歩夢は4年生から始まるクラス対抗水泳大会でも1位をとると言っています。歩夢はスイミングスクールに入り猛練習し、水泳大会のクラス対抗リレーの選手に選ばれるほど上達します。歩夢が、友だちに助けられながら、自ら進んで苦手な水泳を克服していく姿がさわやかに描かれています。



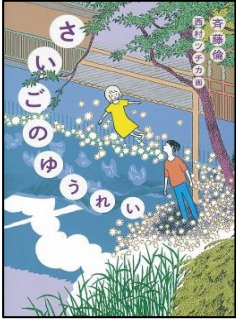
へんくつさんのお茶会

Fークス

【小学校中学年～高学年】

楠 章子／作 井田 千秋／絵 学研プラス

偏屈だが優しいおばあさんアンナがひとりで開くパン屋を舞台にした、心温まるストーリー。小人のマリや泥棒の青年、サルのおばあさんなど、様々な来客とのふれあいを通じて織りなす人間模様が、読者の心を揺さぶります。パンの香りが感じられるほどに甘く、時にはせつない気持ちにさせてくれます。アンナは長く会っていない双子の妹から二人の誕生日にお茶に招待されます。昔を思い出し懐かしい場所を探しに行くと二人は同じことを考えていました。親子で一緒に読めば、人と人との結びつきの大切さ、生命の神秘を感じさせます。



さいごのゆうれい

Fーサイ

【小学校中学年～中学生】

齊藤 倫／著 西村 ツチカ／画 福音館書店

小5の男子ハジメは、夏休みに亡き母の田舎で、子どものゆうれいネムに出会いました。さいごのゆうれいかもしれないネムは、お盆にひと騒ぎ起こしたいと、ハジメと町へ行きます。ゆうれいを捕まえたいミャオ・ター、成仏させたい僧ゲンゾウと出会ったハジメは、今の時代に「かなしみ」が無いことに気づきます。小さな不思議がゆるやかに哲学的ともいえるテーマに連なる物語は、読書に慣れている人向けですが、柔らかな挿絵に助けられて、切ないひと夏の冒険を楽しめます。



ろくぶんの、ナナ

Fーハヤ

【小学校中学年～高学年】

林 けんじろう／作 高橋 由季／絵 岩崎書店

引っ込み思案の小学5年生のナナ。遠足で迷子になった時、お店で譲られた小さなサイコロには目ごとに性格の違う人格がひそんでいました。ナナが触ると出た目の人格が乗り移り、誤解されたり助かったりしながら、ナナは少しずつ変わり始めます。そんな時、親友のあゆみが家を出をします。いつもならあゆみがいなくて一人では行動できないナナがサイコロたちの力を借りて必死に行方を捜します。サイコロの人格といったバーチャルな友達との関わりから成長する主人公の姿が描かれています。



神さまの通り道

Fームラ

【小学校中学年～高学年】

村上 しいこ／作 柴田 ゆう／絵 偕成社

代々神様の通り道だからと手を加えてこなかったガンちゃんの部屋に神さまのスーさんがあらわれます。4年生のクラスで「お願い係」になったガンちゃんはクラスになじめない清水さんの悩みを友達や神さまと協力しながら解決します。みんなの個性を認め、背伸びせず、「自分ができるとは何か」を考えて行動するガンちゃんが魅力的です。登場する同級生たちも個性的でテンポの良い、心があたたかくなるお話です。また、日本神話もちりばめられており、いろんな神さまが登場します。



おてんばヨリーとひげおじさん

Nーシユ

【小学校中学年～高学年】

アニー・M・G・シュミット／作 フィープ・ヴェステンドルフ／絵 西村 由美／訳 岩波書店

新しい特急列車を初めて走らせる記念すべき日。車掌のひげおじさんは、大はりきりでしたが「この列車の下に動物がいる！」と駆け込む女の子ヨリーによって、発車寸前で止められてしまいます。要人も乗る列車をなんとか発車させようとはしますが、列車の下から回収したハリネズミとともに駅長に追い出されてしまいます。ハリネズミだと思っていたものは爆弾とわかり、ひげおじさんとヨリーは列車を止めようと奔走します。列車のようにどんどん進む展開から目が離せません。



ぼくと石の兵士

Nートン

【小学校中学年～中学生】

リサ・トンプソン／著 早川 世詩男／画 榎田 理絵／訳 PHP研究所

陸軍で働いていた父親から聞いた、戦没者記念公園にいる石造りの兵士像。オーエンはこの像と話をすることが心のよりどころでした。父親がもう返ってこないことが分かった時から、母さんはベッドから起きてきません。ある日、兵士像が庭園の改修工事で撤去されることを知ったオーエンは、兵士像を助けようと新聞社や議員にメールを送りますが、返事ははかばかしくありません。メールを送った議員や市長が図書館の開館式に来ることを知った彼は一度は断った開館式での詩の朗読を決意します。

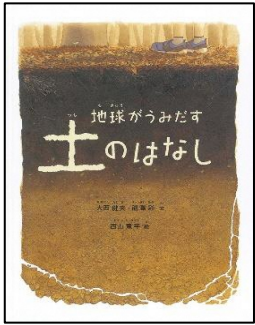


オンボロやしきの人形たち

Nーハネ
【小学校中学年～高学年】

フランス・ホジソン・バーネット／作 尾崎 愛子／訳 平澤 朋子／絵
徳間書店

シンシアは、おばあさんの頃からある古い人形の家を持っていましたが、手入れをしていないためオンボロやしきになっていました。そして、新しく買ってもらったピカピカ城で遊ぶようになります。その様子を見ていた妖精のキマグレ女王は、家来に命じ、オンボロやしきが燃やされそうになるのを阻止したり、王女さまを訪問させ、王宮へ持ち帰るように仕向けます。人形の家は修理され、住んでいた人形には新しい服が着せられました。人形の陽気な気質が楽しい、『秘密の花園』の著者、1906年刊の未邦訳作品。



地球がうみだす土のはなし

ちしきえほん-468
【小学校中学年】

大西 健夫・龍澤 彩／文 西山 竜平／絵 福音館書店

どんぐりが木に育つのは、土があるからです。地球上に生命が誕生するまでは、岩石と砂の世界でした。土は生き物の死骸や微生物が分解された有機物と砂や粘土などの無機物が結びついて作られます。土はその場所の歴史が詰め込まれたタイムカプセルのように長い時間をかけて出来上がります。土に含まれる生き物のかけらや岩や砂の成分は、植物が育つための養分になります。この本は、私たちが何気なく踏みしめている土がどのようにできたのか、生き物にとってどれだけ大切なものなのかを教えてください。



こどもジェンダー

367

【小学校中学年～高学年】

シオリヌ (大貫 詩織)／著 松岡 宗嗣／監修 村田 エリー／絵
ワニブックス

「ジェンダーの本」というと難しそうなイメージがありますが、この本は小学生にもわかりやすいように、やさしい言葉で語りかけるように解説しています。子どもたちが疑問に思うさまざまなシチュエーションに対し、私たち大人はどのように考え、答えればよいのでしょうか？この本にはその解決のヒントがいっぱい詰まっています。ひらがな主体の文章とカラフルなイラストは子どもを意識した編集ですが、取り上げている内容は「いじめ」や「登校拒否」など多岐にわたり、大人の入門編としてもおすすめです。



信じられない現実のうんこ科学図鑑

481

【小学校低学年～高学年】

DK社／編著 増田 まもる／監訳 瀧下 哉代／訳 東京書籍

あなたは、「うんこ」のことをどれくらい知っていますか？この本は、うんこ、おしっこ、おならに関することが書かれています。「うんこは何でできているのか？」、「これまで、うんこされた量は？」、「おしっこって何？」、「一生のうち出るおならの量は？」などを写真や絵で分かりやすく紹介しています。また、「動物がトイレに行く回数」や「一番たくさんうんこする動物」など、動物の情報も盛りだくさんで、大人と一緒に楽しめます。この本を読んで、あなたもうんこ博士になりませんか？



日本庭園を楽しむ絵本

629

【小学校低学年～中学年】

大野 八生／作 あすなろ書房

最初の見返しに美しい日本庭園マップ『東日本編』、最後に『西日本篇』を紹介しています。枯山水、石、岩、砂紋、苔などの解説に加え、四季折々の庭、庭仕事の道具、日本庭園の歴史も細かく説明しています。優しい水彩の絵を描き、色合いも自然と解けていて、見やすくなっています。それぞれの事柄が大変細かく、分かりやすく説明されています。子どもだけでなく大人も日本庭園について、楽しく学べる一冊です。



すずりくん 書道具のおはなし

728

【小学校低学年～中学年】

青柳 貴史／作 中川 学／絵 あかね書房

書道の授業で使用する「すずり」。どうやってできているか知っている人は少ないのではないのでしょうか。この本では擬人化した「すずりくん」たちが、文房具の中の宝物「文房四宝（ぶんぼうしほう）」と呼ばれる、紙・筆・墨・すずりをわかりやすく紹介してくれます。誕生から現在までの歴史やどのように作られているかなどの書道具の説明はもちろん、漢字や歌人についても知ることができます。顔のついたユニークな書道具のイラストでわかりやすく、大人でも知らない知識がいっぱい詰まった1冊です。